



巷で活字離れ、本離れという言葉は聞きますが、自分に影響が来るとは。まあ、

形になることはうれしいものです。通販のアマゾンなどでも購入できますが、診療室では少し安くお買い求めになれます（1500円）。訪問で伺っている方の所へは持参しますのでお声がけください。

## 流れ

野球の試合などで「今のプレーで流れが変わった」などということがありますが、実は、診療の中にも流れがあります。調子が悪い歯があったけれど、何かの拍子に症状が改善す

ると、他の歯の調子悪いものも一気に改善してきて早く診療が終了するとか。逆に流れが読めていないと、1本の歯の治療に目が行き過ぎて他の歯が次々悪くなったり。こちらとしては、いい流れになってくると行け行けドンドンで一気に仕上げていきますし、流れが悪いと何かと悩んでしまいます。

このような流れが重要視されるのはやはり調子があまりよくない方のケースです。問題が少ない人ではそんなに重要ではありません。例えば、プロ野球と一般の高校生の試合では流れなんて必要ありませんが、プロ野球のレギュラーシーズンでは流れは重要なと一緒です。

さて、当然問題は流れが悪い時。僕自身は3つの方法を考えます。1つは、薬や治療法を大きく変えてみる

こと、もう1つは今やっていることを信じて時を待つこと、そして、今やっているところは保留にして別の場所の処置を始めること。もちろんケースバイケースですが、冷静に考えると薬や治療法を変えることが多いかもしれません。それにしても時期は重要です。どのタイミングで流れを変えていくかですから。

今となっては青臭く感じますが、若い時は教科書通りやれば必ず結果が出ると思っていました。よく考えれば医療の世界でそんなことがあれば病気で治らないものはないということになってしまいます。しかし、診療の中で流れが重要と分かった時、やっぱり医療って難しいなあと思いました。

皆さんにも流れを変える決定打が…  
：医者を…代えてみるとか…